

総合福祉会館だより

『和泉きらきら星』高井美鈴さん

聖火ランナーに!

☆会館利用者の高井さんが自身のボランティア活動を志望動機として聖火ランナーに応募した結果、8395人中44人(倍率190倍)の1人に選ばれました☆その時の志望動機を一部、ご紹介しております。

↓↓志望動機↓↓

『私は70才!! たまに膝が痛む時もあるが健康です。和泉市の年輪大学院でボランティアについて学び卒業後有志15名でボランティアグループ「和泉きらきら星」を立ち上げ賛同してくれた社協の助成を得て活動開始。0~4才児とその母親に依頼された場所での人形劇・音楽に合わせた手遊びに初挑戦、大変喜ばれました。

また高齢者施設では紙芝居やギター演奏での演歌、歌謡曲の合唱や簡単な手足の運動などにも挑戦皆で大いに笑いました。高齢者施設に行き思う事はそこに参加しているのはほぼ女性で30名中男性は2~3名です。帰り際にはありがとう楽しかったと言ってもらえますが男性はこういう集まりは苦手なようです。定期的に福祉会館に集まり企画、練習大変ですがその先の笑顔や拍手が明日への活力になります。ご依頼がある限り「和泉きらきら星」は面白い、楽しいまた来てほしいと言ってもらえるよう元気に活動していく事が私の目標です。』
決定通知をいただいた時の☆驚きと感動☆は忘れません!
と心震わせ大喜びしたそうです^_^



こどもの日の由来、意味ってなーに??

こどもの日は、昔中国から伝わった、「端午の節句」という厄払いの習慣が始まりで、日本でもはじめは身を清める行事でしたが、時代が経つにつれて、男の子がたくましく成長することを願う日になっていきました。

それが今では子どもみんなの幸せを願って、お母さんにも感謝する「こどもの日」として、みなさんに親しまれています。

☆貸室ご利用について(無料)☆

- ・市内在住の60歳以上の方
 - ・市内在住の障がい者手帳を所持する障がい者(児)
 - ・市内で活動する福祉ボランティア・福祉関係者
- *趣味・勉強会など使い方はいろいろ(^o^)

趣味

運動

和泉市立総合福祉会館臨時休館について
大阪府下に緊急事態宣言が発出し、和泉市内のコロナウイルス感染症の発生状況をふまえ、和泉市の方針により、福祉会館を臨時休館いたします。

(休館期間)

令和3年4月26日(月)から

令和3年5月11日(火)までの間

コロナに負けるな!! mini会館フェスタ

会館だより4月号で紹介しきれなかった教室のみなさまの作品を☆ご紹介☆

障がい 絵画教室



障がい 陶芸教室

